

福島神社の由来等について

私達は、昔からこの地に伝わる福島神社の氏子であります。

最近、神社氏子について、色々、お聞きしたいとの人もおられますので、この際、神社等の概要を申し上げ、ご理解を得られればと思います。福島神社の祭神は、日本武尊で、その昔この地区は武蔵国多摩郡福嶋村と言われており、その頃から、鎮守として存する神社であります。その山号を『金峰山蔵王権現』と言い、『御岳様』と称し、奥多摩、青梅の御岳神社と同じ系統の神社であります。その後、明治になって御岳神社から福島神社に改称されたものであります。

一般的には神社名は、八幡神社、天満宮等、その祭神に関する神社名が普通であります。その点福島と云う地名による珍しい神社といえます。また末社には八雲神社がありまして、昔は『牛頭天王宮』通称『天王さま』と言い、旧い御輿の中に奉られ、御輿そのものが神社を示しているものです。

この両神社の祭礼は、昔は2月5日、8月5日と定められ、近郷にも知られた、大変にぎやかなお祭りが催されたものです。春祭りの2月5日には村中総出でその年の行事や決め事が定められたと云われております。そして一種のコミュニケーションの場でもあったのです。現在は春季祈願として、神社の関係役員等によって神事のみを行うようになりました。

次に秋祭りであります。原則として8月の第3日曜日を中心に行っておりますが、年度により前後することもあります。まず祭りの宵宮には万灯御輿を、祭り当日は神社御輿の渡御が行われ、大勢の若者によって担ぎだされます。また、早朝から男の子による獅子頭の各氏子への巡回があります。言い伝えによれば元氣のよい子供の威勢により、病魔、悪魔が追い払われ、自然に重い病氣も快方に向かうと言われております。氏子の家を一軒、一軒獅子頭が巡ると云う行事はこの近郷にない、大変珍しい事であり、大切にしなければならぬ伝統行事の一つでもあります。尤も福島神社は、古くから病魔の神様と言われ、不治の病と伝わった疫病などからも多くの氏子を救ったと云われている神様でもあります。

現在でも諸病で苦しまれた方が、その有難い御神力により元氣になられたということもきいております。そのためでしょうか、この地区ばかりでなく他の地区からも多くの方が参拝に参られているようです。

福島神社氏子会入会のお誘いと会費の集金について

当神社の年中行事、会則等の細則は別に定められていますが、春や秋の祭りばかりでなく、11月には七五三のお祝いを、正月には初詣、2月には節分の豆まき等の行事を行い、この福島地区住人の最良のコミュニケーションの場ともなっております。この際ぜひ当神社の氏子会へ入会されますことをお願いいたします。入会をされますとその特典として、全会員に御利益ある福島神社の御神符を毎年無料にて差し上げております。会員につきましては、年会費1000円で、通常7月中に収めていただくことになっております。今年も例年のように関係役員の方が会費の集金にお伺いいたしますのでよろしくお願いたします。

第二地区 総代 齊藤 康政
電話 543-7533